

陳 情	受 理 番 号	8	受 理 年 月 日	令和7年8月27日	付 託 委員会	総 務
件 名	那覇市に軍事被害対策部署設置を求める陳情					

みだしの件について、別紙のとおり陳情いたしますので、よろしくお願いいたします。

那覇市に軍事被害対策部署設置を求める陳情

- 趣旨：1. 那覇市役所に軍事被害対策部署を設置されたい
2. 軍用機飛行をはじめ軍事被害を市役所で主体的・日常的に記録・測定し、有効な抗議をされたい
3. 新部署中心に軍事被害の解消を目指して行動されたい
4. 2024年9月那覇市議会での多和田栄子議員（当時）からの質問に市は「部署設置を検討する（大意）」と答弁しているが、その検討内容と2025年度に設置しなかった理由を明らかにされたい

陳情の理由：市域にアメリカ陸軍那覇軍港と自衛隊那覇基地を置かれている那覇市。軍港では軍事訓練(2023年)・オスプレイ発着、自衛隊基地からは有害物放出(2021年)・那覇空港滑走路落下物事故、等々しばしば市民の安全と生活を脅かす事件が発生している。

また、日常的に那覇上空をオスプレイ・戦闘機が飛行し、恐怖と騒音被害をもたらしている。現に2018年に那覇市沖に米軍F15が墜落した。軍用機飛行については私たち市民からの度重なる要望にもかかわらず、市での記録・測定は行わない。

さらに、那覇市役所においては、かかる被害を市民が訴えていく窓口として「平和交流・男女参画課」が任に当たっている。平和交流も両性平等も喫緊の課題であり、軍事被害対策を兼務させることは遺憾である。

この件につき2025年3月11日に那覇市議会総務常任委員会で当会の大城直・大城英子が証人として発言したが、総務常任委員会は会からの陳情を市議会本会議に上程しなかった。その理由を明らかにされたい。

那覇市・那覇市議会は市民の生命・安全を最優先にする方針を持たれていると信ずるので、私たちはこの陳情をおこなうものである。